

小寺勲子 コノエノブコ 小説家。明治十七年八月七日富山縣生れ、昭和二十一年

年十一月二十一日歿（八三—一九五）。舊姓尾島。筆名喜久子、尾島勲

尾島勲子、尾島勲子、秋香、秋香女史等。東京府教育會教員養成所卒。

小學校教員、記者等を経て、徳田秋聲の秘書として作家生活。明治四十

四年青鞞社社員。洋書家小寺健吉と結婚。

著書 『青鞞小説集・第一』（尾島勲子、合著・青鞞社編、大正二年）一

月二十一日東京堂刊、『情紙の春』（昭和二年五月）二十一日教文社）、

『深夜の歌』（昭和十一年八月）二十一日教文社）、『花犬小鳥』（昭

和十七年一月十五日人文書院）等。